



無病息災、震災からの復興、平和を願う

校長 大谷 京司



1月15日(月)、今年も校庭で
どんど焼きを行いました。

子どもたちの書き初めに炎が移ると天高く燃えた紙が舞い上がり、みんなで「字がうまくなるね」などと言いながら見上げていました。年神様も無事に天へ帰ったことと思います。願いを込めて、無心に手を合わせている子どもたちもいました。



お焚き上げが終わったところで、子どもたちは2階に移動して、グループごとにお団子づくりを行いました。

お団子が出来上がったグループから竹の先にお団子をつけ、

お焚き上げ後の火にあぶって、おいしそうな焦げ目が少しいたところで、お醤油につけていただきました。2024年、良い年になりますように。



能登半島地震の募金 日本赤十字社へ



能登半島地震の募金は、1月24日(水)までで11,895円集まりました。皆さんから寄付していただいたお金は、日本赤十字社を通して、災害で被害を受けた方々の生活を支えるために使っていただきます。1月25日(木)に郵便局から振込をしました。ご協力ありがとうございました。また、学園からも5万円を別に寄付いたしました。



玉小体育でタグラグビー

子どもたちに体を動かす楽しさを教えてくれる団体で元女子日本代表ラグーも含むアンリーシュさんにタグラグビーを教えていただき、試合を行いました。

ラグビーのように体でぶつかることはなく、ボールをもった人は腰につけたタグを取られたら必ず後ろの味方にパスしなければなりません。

ルールを理解してゲームに慣れてくると、少しずつチームの戦術も考えることができるようになっていきました。寒い中でしたが、みんなでいい汗を流すことができました。



今年最初の十八番朝会

今年も十八番朝会で子どもたちが個性的な才能を披露してくれました。苦手を克服することも大切なことですが、好き・得意を伸ばすことにも増してとても意義あることだと思います。技を披露してくれた後のインタビューにも自分の思いを整理しながら元気に答えてくれました。



野球 楽しんでます！



「先生、大谷翔平のグローブで遊ぼうよ」子どもから声を掛けられ、ちょっと嬉しい気持ちでキャッチボールをします。まだ、グローブが固く、上手に捕球するのは難しいところもありますが、子どもたちが野球の



楽しさを感じているのは確かです。

すがたを変える大豆 お豆腐作り



昨年の猛暑で大豆の生育が悪く、今回はきれいな大豆がほとんど収穫できませんでした。そのようなわけで、昨年度は全学年で取り組んでいた大豆からのお豆腐作りは今年は3年生にお願いすることにしました。3年生は、国語で「すがたを変える大豆」という単元を学習しており、大豆が日本の食卓には欠かせない食品に生まれ変わることを知識として理解しました。今度はその知識を体験からさらに深く学んでいく取り組みです。大豆の煮立った時の匂いや豆乳やおからの味、豆腐を取り出す時の感触やできた瞬間の感激など忘れられないものになったと思います。もちろん味も格別、みんなから「おいし〜い」の声が聞かれました。

